

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成27年度)

調査表

施設名	県立視覚障害者センター
指定管理者	(公財)宮崎県視覚障害者福祉協会
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

指標	H27	H26	H25	増減理由等
施設利用者数(単位:人)	4,243	4,064	3,623	・施設利用者は、団体活動による研修室利用が300人程度増加したことによる。 ・図書利用者が減少した理由は、カセットテープの製作ができなくなったことによる。 ・図書貸出タイトル数の増加は、デジタイズ図書の増による。(カセットテープ図書の廃止によるデジタイズへの移行が考えられる。)
点字図書・音訳図書利用者	2,960	4,184	7,753	
点字図書・音訳図書貸出タイトル数	12,782	10,396	11,209	
コメント	図書利用者が、カセットテープ図書が製作できなくなったことにより減少したが、施設利用者、図書貸出タイトル数は増加している。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H27	H26	H25	支出	H27	H26	H25
指定管理料	25,260	25,210	25,174	人件費	20,074	21,399	22,076
受取利息				備品・消耗品	1,565	342	342
事業収入	310	127	402	光熱水料費	1,039	1,138	1,110
雑収入(受取利息含む)	10	14	14	保険料	7	9	6
				その他	2,732	2,536	2,167
合計(①)	25,580	25,351	25,590	合計(②)	25,417	25,424	25,701
①-②	163	-73	-111				
コメント	人件費の減少は、人事更新による。備品・消耗品の増の主な理由は、経年劣化した研修室の椅子取替え、視覚障害者に対する情報支援の充実を図るためのIT関連機器等を導入したことによる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成27年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃。床洗浄ワックス塗布(共有部分については、消費生活センター実施)。
	保守・点検	消防施設等については、消費生活センター実施。
	警備	消費生活センター実施。
	修繕	備品・設備点検を随時行った。
	備品等管理	備品台帳点検(年1回)。
	安全対策	センター利用者に対する賠償責任保険の加入。
	その他	こまめに消灯等を行い、節電、節水に努めた。
企画運営業務	サービス提供体制整備	土曜、日曜は交代勤務制で対応しており、利用者の利便性を図った。
	イベント等ソフト面充実	・福祉機器展の開催(11/1):日常生活用具の展示、視覚障害者向けのスマートフォン説明会・パソコン、拡大読書器等の展示。併せて、視覚障害者の大正琴及びコーラスグループの発表会等を実施。262名の参加。 ・中途失明者への点字指導。・対面朗読の実施。・タブレット端末機等の操作支援。
	施設設備等ハード面充実	・研修室の椅子の経年劣化に伴う入替え。IT関連情報支援に向けたパソコン等情報支援機器の導入。 ・随時、機器の点検を実施した。
	その他	・情報提供施設として、利用者の増加を図るためのキャンペーン事業を2市3町で実施した。
管理運営体制	公益財団法人として4年を経過した。	
コメント	協定書に基づき、適正な管理を図っている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(5,8,11,2月に計4回 延500件)、意見箱・ホームページ苦情要望コーナー(延250件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
情報機器等のサポートについての問い合わせが多かった。	IT関連情報機器の整備や情報支援体制の充実が求められており、計画的に機器の整備や支援体制を構築する。
視覚障害者用日常生活用具等の相談が多かった。	丁寧に対応し、適正な用具を紹介した。
サピエからのダウンロード・点字プリントの依頼が多かった。	依頼者への丁寧な対応と、製本・発送を確実に行った。

5 総合評価

評価コメント	基本協定に沿って適正な業務が行われている。
今後の課題と対応	施設の利用者及び点字図書・音訳図書の貸出は増加しているが、点字図書・音訳図書の利用者については減少しているため施設の幅広い世代に利用者に点字図書・音訳図書のサービスについて周知利用を促進していく必要がある。